

難治性下痢症について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
難治性下痢症	<p>◇症状及び治療法</p> <p>感染などの原因がないにもかかわらず、2～3週間以上長引く下痢を難治性下痢症と呼ぶ。</p> <p>難治性下痢症の最も重要な症状は、体重増加不良、栄養障害、成長障害などである。吸収障害が続くと低栄養になり、免疫力が低下して重い感染症が起こり、ビタミン・微量元素などの欠乏による貧血や皮膚炎などの症状が出現する。</p> <p>根本的な治療は病気により異なるが、栄養状態が悪い子どもが多く、脱水症の治療を行ったあと、栄養療法を行う。栄養療法としては、あらかじめ消化された状態の蛋白質で構成されている栄養剤を用いる。ただし、いろいろな理由で腸から栄養が与えられない状態の場合は、静脈から全栄養を与える。</p> <p>(gooヘルスケア 家庭の医学より)</p>	